TAKE FREE 2025 年 5 月号

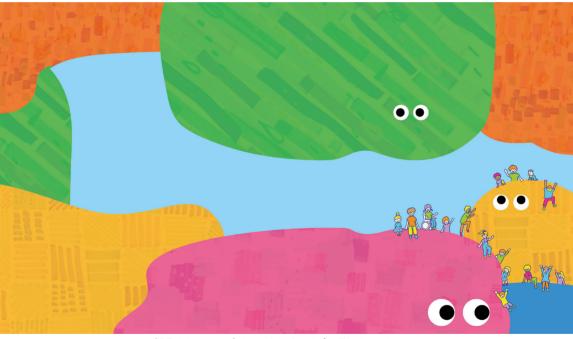


Setagava

Volunteer

Network

P.2-5 世田谷区子どもの権利条例 子どもの権利が当たり前に保障される世田谷をめざして



「子どもたちのいつもそばにあるもの」というコンセプトで描かれたイラスト

まちの市民力

P.6

~仲間とアルコール依存に向き合う~ AA 玉川グループ



協会からのお知らせ

ご寄付のお願い **P.7**



2025 年度「せたがやチャイルドライン 公開講座」 参加者募集 おたがいさまビュー P.8-P.11 福祉車両のご寄贈のお礼 ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

世田谷区子どもの権利条例

子どもの権利が当たり前に保障される 世田谷をめざして

文責/市川徹(セボネ編集委員) 花田朋美(セボネ編集委員)

> ども条例」 2025年3月に世田谷区子ども ども基本法」の施行などを受けて、 も条例を改正し、 推進するため、 谷区子ども条例を2001年に した。 う「子どもの権利条約」 もが幸せに生きることができるよ 年に国連で世界中のすべ とをご存じでしょうか。 もの権利条例として、 定しています。 区子どもの権利条例」とな (権の尊重と確保の取 2025年 日本も1994年に批准し 行されています。 世田谷区ではこの条約に そして、2023年の 東京23区では初となる世田 を2013年に設置 せたがやホッと子どもサ が改正 4 2012年に子ど その後、 子どもの が組み. この4月 1989 子どもの ての子ど が採択さ 一世田谷 を 制 基

子どもの権利について

ての子どもが無条件にもっ たときに対価として与えられるも 子どもの権利は人権です 義務や責任を果たし ている 0 す

もの

であ

曲に 勉強 は は 自由 することができます 1) N 0い遊んが 意見を言ったり自 1 大 切 するこ 12 7 守ら

ども 地域 す。 きるのです。 さを教え にお互い 主体的に行動したり、 自信を持つために不可欠なの 自身を肯定 につながります。 子どもの自己肯定感を育むこと 人が子ども 子どもの 社会 未来を築 たりする力を育みます。 自己肯定感が高い子どもは、 $\overline{\mathcal{O}}$ 7 0 が権利を対]肯定感· い 担い手として、 の権利を尊重 的に捉え、 権利を守ることは、 てい 子ども 尊重 を育っ くことが Ē, 自尊心: 他者と協 する大切 が自分 将来 _ [] で

子ども もたち自身が特に 子どもの権利条約にお 今回の子ども もの意見の尊重) 般原 発達 権利 削 ロセスに 最 善 を強 ①差別の 1 $\bar{\sigma}$ の権利条例では、 対する権利、 利 大切に 関 益 す わ に加えて、 禁止、 ける4 った子ど ③ 生 したい か 命 4

(子どもの意見表明)

1. 予どもの思い

私たちは、自分の意見や思いを受けとめてもらったとき、喜びを感じます。 きれいで自然豊かな世田谷を守っていきたいです。

私たちの未来にもっと希望を持ちたいです。

自分で様々な選択をして自分らしく生きたいです。

ことも同士が交流し、つながる機会を増やしたいです。

まんしん 安心できる場所を増やしたいです。

自由に、やりたいことにチャレンジして、学びを深め、成長していきたいです。

大人に意見や思いを届けたいです。

こんな思いがかなう世田谷にしたいです。

2. 大人へのメッセージ

大人世代の「あたり前」は、子ども世代の「あたり前」とは違います。

大人たちには、自分が子どもだった時の気持ちを思い出して、子どもと同じ自線に立って向 き合って欲しいです。

子どもはきっとこう感じているという決めつけではなく、私たちの言葉や思いを信じてください。 そして、言葉や思いをしっかり受けとめた上で向き合ってください。

みんなが意見や思いを尊重し合って、何かを恐れずに、自由に発言や表現できる環境が欲 しいです。

こせい みと じぶん い たようせい そんちょう 個性が認められ自分らしく生きたいので、多様性が尊重されることが必要です。 テラキレル 好奇心がくすぐられる体験、機会など、ワクワクを育ちや学びに取り入れて欲しいです。

全ての子どもが安心でき、教育を受けられる多様な環境が欲しいです。

いろんな不安を持っている子どもの味方になってくれる人がいる場所を増やしてください。

「できるかできないか」だけを覚るのではなく、「やっている姿」も覚てください。

おたちがどんな進路を選んでも、一人ひとりに合わせた応援をしてください。

世田谷区子どもの権利条例 前文 (子ども条例検討プロジェクト(後期)報告書より抜粋)

討プロジェクト」において、子どをメンバーとした「子ども条例検

検討した意見を反映して

て受けとめ、

活かすことができる

条例の前文・目標・子ども

そして、権利の主役である子ど

条例を自分たちのものとし

の権利には、

中学生・高校生世代

に整理し、具体的に16項目の子ど明し、参加・参画する権利」などのことを決める権利」「意見を表 支援を受ける権利」「自分で自分に過ごす権利」「社会から守られ、 自分らしくいられる権利」 の権利が規定されてい 第5条から第9条に か げ

地域社会の責任として捉え直する条例に明確に定義し、区を含め 査などを踏まえ、子どもの権 区の子ども・若者に 2022年に はする ij

る子どもの権利 |今回の改正に至る経緯 世田谷区では、他自治体に 保障 . . の 取

年協議会」に てまとめられ ケートなどによる子ども・ 区民意見や、インターネットアン に対して、パブリックコメントの まえて条例の素案を作成し、それ 例改正の その中では 区議会での議論などを反映 学校など関係機関 **)検討** お ました。 ぶよび を開 おける検討結果を踏 区の 子ども・ しまし 「子ども・ からの意 若者の

改正のポイント

次の3つです。 今回改正した条例のポイントは

一般原則の権利を引用した権利条約」が規定する4つ記しました。国連「子ども 「子どもの権利」を具体 がしたほのから ないがい かいこう くっとものの いっとものの 明

を 明示する形で具体的い、特に重要と考え ました。 X の子ども る形で具体的に規定に重要と考えた権利于どもたちが検討を

②子どもの声を反映 した。 どに子どもの思い ようにするため、 どもが、 例として活かすことがで して受けとめ、 ました。 条例の主役である子 条例を自分のも 自分たちの条 心思い 条例前· を反映し を込め 文な きる のと

③子どもの権利 等において、 きます。 検証する第 区が実施 の保障 子どもの権 = 一者機関 状 する 況 施策設 利施 を評

> 価 適 置することを規定しました。 讱 • 検証する第三者機関を に保障され ているか を 設 評

多加 した子どもの声から

に今回の感想を聞いてみました。 を聞く機会があり、ざっくばらん クト」に参加した子どもたちに話 今回、 「子ども条例検討プロジェ

ど、会全体の雰囲気が明るく、 ど、会全体の雰囲気が明るく、話りました。「内容的には難しいけ 章にできてよかった」との話があ 感じがする」「思ってることが文 と反映されている、関われている からは、 やすかった」との意見も。 「自分たちの声がきちん 今回の条例改正に関わっ た高校生たちのグル

いて、 他人と比較することや評価がなく 務めた大学生からは、「ここでは です。プライバシーが守られたり、 のルール) があったのがよかった 相手を批判しないなど議論する際 た」との話も。「グランドルール 初は形になるのかどうか緊張して て安心して進められました」「最 今回のプロジェクトで進行役を 一言一言に責任を感じまし *****

わり続けていきたいそう。

长

加者募集

中学生、高校生世代

の声を子とや条例に

「子ども条例検討プロジェクト」募集チラシ

ありました。 安心感につながるから」との 声

は、 関して、かた苦しくならな 会のことに興味をもち始めまし つつ、このようなプロジェクトに がやることによって、他の自治体 際に参加して大変だったけど、 者たちで作成したりしまし に意見を出したり、イラストも若 たり、広報用ポスターの作り方に もたちに調査やインタビューをし た。区内の小中学校に行って子ど 自分の意見を聞いてもらえず、 の介護をしていた際に、なかなか になったのか聞いてみました。「母 てこのプロジェクトに関わるよう さらに、別の大学生には、どうし れば」との話をいただきました。 の声を受けて条例改正したこと よかったです。世田谷区が子ども いるのか、可視化してくれたのが 意見をプロセスにどう反映させて 若者たちの生の声を聞いて、 スか分からなかったけど、大人が 広がれば」。 もう一人の進行役の大学生から 、今後の子どもたちのためにな - 条例改正がどういうプロセ 卒業後も仕事をし た。 いよう その 社

どの声がありました。そのほか 結果が反映されているから」な みました。「全部! 1つ1つの りました。この挑戦の大切さは、 ても大丈夫という言葉が文字にな けではなくて、本気で話し合った ているから」「ただ話し合っただ 権利や言葉すべてに思いがつまっ います」 つのきっかけが今回の条例だと思 「チャレンジという言葉、失敗し 別のグループの中学生たちに 条例の推しポイントを聞いて と話してくれました。

「子ども条例検討プロジェクト」 ワークショップの様子

ば」などの声もありました。 世代の人たちと大人に伝われ 世代と子ども世代との価値観の こなかったように思います。 ちは子どもに本気で向き合って という声や、 違いがあったように思います」 特に意見を交わしました。大人 と思います」「前文については、 も再認識してくれたのでは 「これまで大人た

どもの環境がよくなることは、

人の環境もよくなることにつなが

ります。

支え合っていくための一

利条例についての逐条解説が発 あったとのこと。 人の意見 こと、という話し合いもあった か、という一方で、 言います。どこまでへりくだる との話がありました。この条文 に対する思いが込められている 付いていて、子どもたちの条例 とに子どもたちが考えた解説が 行されること、それには条文ご 大学生からは、 立したいわけではないので、 必要はない、 の言葉について、中学生からは、 「大人に伝えるための言葉」と こちらのグループの進行役の もう1人の進行役の大学生か も聞き入 とはいえ、 権利として当然な 後日子どもの権 へりくだる

> らは、 ます れました。 をやり続けたいです」と話してく 今回やりたいことをやれたと思い 合える場づくりをしたいと思い、 り始めました。 や地域づくりに興味をもって関わ 0 今後も若者の居場所づくり 一高校生の時にまちづく 。若者が本音で語り

一おわりに

た。 はと思います。 でも画期的な取り組みだったので たという意味で、世田谷区政の中 たちがそのプロセスに深く関わっ まった条例だと改めて感じまし このような子どもたちの話を聞 かつ、今回の改正は、 子どもの多くの思いが詰 子ども

思いを込めたという子ども が、むしろ条文一つ一つの言葉に う前文に注目が集まりがちです の権利条例全文を読んでみてはい ことを期待したいところ。これを もたちの意見を聞いて進めていく を進めるにあたっても、ぜひ子ど 話は驚きでした。これからの区政 がでしょうか。 子どもたちの声で作成し みなさんもぜひ一度子ども したとい たちの

> ※世田谷区子どもの権利条例 世田谷区のホームページで「世 ことができます。 こでは掲載できませ/ | で検索すると全文を

ちの市民力

~仲間とアルコール依存に向き合う~ AA 玉川グループ



イラスト: 元井夏子

年、ル

分かち合うことで、 ボランティアセンターと玉川ボラ 600のグループがあ い日々を重ねていくという活動を でお互いの飲酒にまつわる経験を しています。 人たちが集い、ミーティングの中 (アルコホーリクス・アノニマス) Aという言葉を知っていま Alcoholics Anonymous 飲酒に問題を抱えている 現在は、全国で約 お酒を飲まな り、世田谷

場。メンバー同士が体験を分かちそして、参加者はみな対等の立 みんなと一 も 日飲まなかった』の連続が大事で、 合い支えあ 一人だとそれを達成するのがとて 緒に向き合え、 しかし っています。「『今日1 と皆さん口をそろえ 仲間がいると 乗り越

一人で抱え込まずに、

度、

のAAグループに参加し

てみ

に活動が始まり、

、 それぞれのグ 、 今年の7月に40 ーブは1985年

を迎えます。それぞれ

がそこにいます。

かがでし

ようか。

仲間

「A玉川グルー

動しています。

区内にもいくつかのグループが活 る「AA玉川グループ」をはじめ、 ンティアビューローで活動してい

> い今の自分があるといっても過言ループに出会えて、お酒を飲まな 守ってくれたから私はAA玉川グ ずっとAA玉川グループを続けて 払ってくれる方だった。 となっています。 は外に持ち出さないことがル の内容や参加メンバーのことなど ことなどを分かち合いますが ルコールを絶って生活できている とても大切にし、 ではない」とお話くださいまし プの代表が参加メンバーに敬意を 分には合っていた。 のXさんは、 AAは匿名性(アノニマス) プはカラー ルに溺れていたころの話、 ムで呼び合っています。 「A 玉川 「ここの雰囲気が自 があるとい 参加者はニック また、 その方が アル た。 を ます。 の笑顔が印象的でした。 らえると嬉しく、 ルを励みにしています」 きている証明なんです。 け渡されます。 6か月…と節目ごとにメダルが受

ことがすごく大切なんです。」と 存なんだと思い出すこと、 年月が経つとあのころのことを忘 ころにはもう戻りたくない。でも、 とても嬉しかったです。 **乙さんが教えてくださいまし** プに行って、 れてしまうので、 言葉をいただき、協会職員とし 本当に感謝しています」というお 議室を貸してくださり、私たちの 命』を繋いでくださっています 「世田谷ボランティア協会も会 お酒に一番溺れて悲惨だっ 自分はアルコール依 A A 玉 川 認める グルー た。

と「ワンデーメダル」が手渡され ミーティングに初めて参加 まし する

禁酒から1か月、

3か月、

「このメダルがも

自分が禁酒がで このメダ とYさん

協会からのお知らせ~ご寄付のお願い~

は

呈させ

F

付

活 税額

角

た

ま

す



ボランティア・市民活動推進部の寄付金チラシ

あなたの応援がチカラになる

災害ボランティア活動を

支えてください

す い \mathcal{O} ⁻Syncable ただき、 遷移します。 寄 ま 付 12 い (決済代行サ 必要事項 は 点きをお 部 をご 願 Ħ

2

ž $\bar{\mathbb{H}}$

4 谷

日からク 1

レジ

۱۱*)*

よる寄付ができる

下記、 し

一次元コ

読み

で

報の

ジ

な

'n

-情報.

世

ンテ

ア

協

会

デ

は

作成 ま 0 八力さ 情報 ます d 事 U 一務手続きのための 法令に基づく場合を除 保 ユ 潁 個 ĺΞ でも 基 報 は みに お

当会へのご寄付は もご利用いただけ

寄 ŧ さ

Amazon

pay

す

各部門、 末 đ ົດ * 术 0 ジ シテ 付金 ツ 1 ァ カ セ



せたがや災害ボランティアセンターの寄付金チラシ

せたがやチャイルドラインの寄付金チラシ

協会で 会社 た情 7 ッ Syncable (OPN Holdings: は トブランド5社が 報 カ ー 基 で 準に Ë -情 報-内で入力さ 理 情報は、 セ 丰 力 れ ı # 決済 共同 る ñ IJ 式 す 玉 会社 o 際ペ 代 1 ~

するこ 太 とは \mathcal{O} 承 あ Ŋ な ませ 12 、提供



は皆様の声を集めて制作 など情報をお寄せください。

ま

ランティア募集

ムペ

ージから情報を投稿できます。

■ ボランティア墓集 ■ 有償スタッフ墓集 ■ 講座・ イベント・ その他

一緒に登下校を付き添ってくださるボランティア募集

中学1年生が、自宅から中学校までの登校または下校に付き添ってくださる方を必要とし ています。生まれつき体が小さくて中学校までの道のりを歩くのに不安があります。また、 教科書など重い荷物を持つのは体に負担があるため、1人で登校するのは難しい状況です。 現在、家族が仕事を時短勤務にして付き添っていますが、どなたか手伝ってくださる方が いると助かります。週1回からでもありがたいです。詳しくはお問合せください。

- ●日時/【登校】平日は7時30分自宅待合せ→8時頃学校着 【下校】水曜 15 時、月・火・木・金は 16 時 、部活動日は 18 時に学校前にお迎え ※週1回から、登下校どちらかでも可。時間は応相談。
- ●場所/自宅(奥沢地区)と中学校との間 ●交诵/東急大井町線
- ●条件/女性、交通費支給
- ●問合せ/玉川ボランティアビューロー TEL: 03-3707-3528 メール: tamabora@otagaisama.or.ip

3歳の女の子の保育園の送迎をしてくださる方を探しています

3歳の女の子の保育園の送迎をしてくれる方を探しています。お母さんが一人で頑張って きましたが、病気を患いこれ以上無理ができません。 医師からも痛みなどの症状が出やす いので十分気を付けるように言われています。女の子は、機関車トーマスや乗り物が大好き な人懐こい明るいお子さんです。週1回だけでも、【送り】か【お迎え】を手伝っていただ けると助かります。詳しくはお問い合わせください。ご連絡をお待ちしています。

- ●日時/【送り】平日7時15分に自宅に迎えに行き保育園まで送る。 【お迎え】火曜のみ 16 時 30 分頃に保育園に迎えに行き自宅まで送る。
- ●場所/自宅(上野毛駅近辺)~保育園(等々力駅より徒歩約10分) おしゃべりを楽しみながら25分程度の道のりを歩きます。用意してあるベビーカ 一に乗るので歩いて移動するよりも安全です。
- ●交通/東急大井町線上野毛駅 ●条件/女性、交通費は出ません
- ●問合せ/玉川ボランティアビューロー TEL: 03-3707-3528 メール: tamabora@otagaisama.or.jp

車いす利用者の付き添いにご協力いただける方募集

世田谷2丁目にお住いの70代男性が出かける際に車いすを押してくださる方を探してい ます。男性は読書や音楽鑑賞、人と会話することが好きな方です。男性とお話を楽しみなが らお出掛けに付き添っていただける方、お待ちしています。①または②の活動をお願いします。

- ●日時/
- ①水曜か金曜 14 時~ 16 時(2 週間に1回): 自宅からスーパーでの買い物や図書館経由で帰宅 ②火曜 14 時 30 分~ 16 時 30 分(月 1~2 回程度): 病院からスーパーでの買い物経中で帰宅
- ●場所/世田谷・上町近辺
- ●交通/東急世田谷線上町駅徒歩7分程度(ご自宅まで) ●条件/性別不問
- ●問合せ/北沢ボランティアビューロー 担当 小島 TEL:03-3420-2520 メール: kitabora@otagaisama.or.jp

病院ボランティア募集(通年)

三宿病院(世田谷公園横)では外来受付周りでボランティアをしていただける方を募集しています。活動内容は・受付機械の操作案内・診察室や検査場所への道案内・支払機の操作案内などのお手伝いとなります。資格や特技などは必要ありません。皆さまの力を少しだけ貸していただけませんか?始めるタイミングはいつでもOK。お申込みやお問い合わせはお電話にてお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

- ●日時/平日9時~12時(曜日、時間は応相談)
- ●場所/国家公務員共済組合連合会 三宿病院(日黒区上日黒 5-33-12)
- ●交通/東急田園都市線池尻大橋駅、または東急東横線祐天寺駅下車徒歩各約 15 分
- ●条件/①年齢:18 ~ 80 歳くらい(高校生不可)②階段の上り下りと立ち仕事ができる方
- ●問合せ/国家公務員共済組合連合会 三宿病院 担当:患者支援センター ボランティア担当 TEL: 03-3711-5771 (代表)

世田谷区いずみ学級(知的障害者の青年学級)でボランティアしませんか?

いずみ学級は、知的障害のある人たちと、彼らを支え共に学び、活動するボランティアにより運営する学級です。一年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、クリスマス会、ミーティングなどの活動をしています。学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちがボランティアに参加しています。資格等は不要です。知的障害のある人たちと関わることに関心のある方なら、誰でも参加できます。

ボランティアの募集は年間を通じて行っています。詳細は、世田谷区公式ホームページから、ページ ID に 3587 を入力してご覧ください。

- ●日時/月1~2回、日曜の9時50分~15時30分
- ●場所/世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校(外出行事もあります)
- ●交通/世田谷中学校:東急世田谷線若林駅徒歩 10 分 八幡中学校:東急大井町線九品仏駅徒歩 8 分
 - 芦花中学校:京王線芦花公園駅徒歩8分
- ●問合せ/世田谷区教育委員会事務局生涯学習課 いずみ学級担当 TFI: 03-3429-4259

車いす利用高齢者の散歩同行と発語練習の手伝い求む

脳梗塞の後遺症で右半身麻痺と失語症のある 80 代の男性が、「①車いすを押して一緒に散歩をしてくれる方」と、「②発語の練習のために一緒に歌を歌ってくれる方」を求めています。ご本人は週の大半は高齢者施設で生活していますが、週末は野沢の自宅で奥様と過ごしています。これまで散歩は奥様が付き添っていましたが、奥様も腰を痛めてしまったので、代わりに日曜日に 1 時間ほど散歩に同行してくれる方を探しています。なお、自宅の玄関が 2 階なので、外出時は階段昇降機を使用します。車いすから昇降機への移乗時にも手を貸してほしいので、男性にお願いしたいです。

発語練習は、弦巻にある高齢者施設内でお願いします。ご本人は、好きな唱歌や童謡を歌うと言葉が出やすくなるので、上手に歌うのではなく、「言葉が出るように」「ゆっくりと」一緒に歌を楽しんでくださる方にお願いしたいです。詳細はお問い合わせください。

- ●日時/①散歩:毎週日曜 時間応相談 1時間程度
 - ②発語練習:火曜〜金曜(火曜のみ午後) 時間応相談 1 時間程度
- ●場所&交通/①散歩:野沢1丁目の自宅周辺(「野沢銀座」バス停徒歩5分) ②発語練習:弦巻5丁目の高齢者施設(「農大前」バス停徒歩6分)
- ●条件/①②共通 謝礼1回1000円(交通費込)、①散歩:男性、②発語練習:性別不問
- ●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 原口 TEL: 03-5712-5101 メール: haraguchi@otagaisama.or.jp

災害ボランティアコーディネーター養成講座(基礎編) @昭和女子大学

2025年度1回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を昭和 女子大学にて開催します! 内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティ アの活動内容(世田谷方式)等を学びます。

- ●日時/6月7日(土) 13時30分~16時30分 ※13時より受付開始
- ●会場/昭和女子大学(世田谷区太子堂1-7-57)
- ●交通/東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩7分●参加費/無料
- ●申込/5月1日(木)~6月5日(木)までに、右記の二次元コードから、 またはメールか電話にてお申し込みください。
- ●問合せ/せたがや災害ボランティアセンター TEL:03-5712-5101 メール: saigai-info@otagaisama.or.ip



2025 年度「せたがやチャイルドライン 公開講座」参加者募集

チャイルドラインは 1998 年から日本で初めて世田谷で実施され、今では全国約 70 カ所 で子どもたちからの電話を受けています。電話を受けているのはすべてボランティアです。 開設から 25 年が過ぎ、電話をかけてくる子どもたちの家庭や社会の状況も変わってきまし た。今を生きる子どもたちの現状を一緒に学ぶために今年も公開講座を企画しました。公開 講座は「今を生きる子ども」を知ることを目的として、いろいろな角度から子どもに関わる 講師にそれぞれの専門的な立場から話していただきます。子どもたちの苦悩や喜びを理解で きる大人が増えること、それは子どもが安心して暮らせる社会をつくることにつながります。 そして、せたがやチャイルドラインに参加してみたいと思った方には、子どもの声を聴く ために、より具体的なことを学ぶ専修講座もご用意しています。(専修講座に進むためには 公開講座を全て受講する必要があります)

●日時/

- ① $5 \neq 10 \neq (\pm)$ 13 時~ 15 時、② $5 \neq 10 \neq (\pm)$ 15 時 30 分~ 17 時 30 分
- ③ 5月24日(十)15時30分~17時30分、④6月14日(十)13時~15時
- ⑤ 6月14日(十)15時30分~17時30分、⑥6月28日(十)13時~15時
- ⑦ 7月 12 日 (土) 13 時~ 15 時、⑧ 7月 12 日 (土) 15 時 30 分~ 17 時 30 分
- ⑨ 7月 26日(土)13 時~ 15 時、⑩ 7月 26日(土)15 時 30 分~ 17 時 30 分
- ●開催方法/会場(世田谷ボランティアセンター(世田谷区下馬 2-20-14))、または WEB ※9は会場のみ開催 会議ツール「ZOOMI
- ●参加費/1講座:2000円(学生1000円)
 - ※初回申込時に全10回一括申込:19.000円(学生9.000円)
- ※講師や講座内容、申込は右記二次元コードからご確認ください。 または「2025年度せたがやチャイルドライン公開講座」と検索して ください。
- ●問合せ/せたがやチャイルドライン事務局 TEL: 03-5712-5101 メール: childline@otagaisama.or.jp



AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボラ ンティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団 体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステム によるマッチングサイト(世田谷版GBER「ジーバーI)で結び付け、 経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



福祉車両のご寄贈のお礼

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉 財団様、一般社団法人東京馬主協会様 より、福祉車両をご寄贈いただきまし た。車いすが乗り降りできるリフトも 装備されているので、車いすユーザー のご利用者の送迎や、外出活動がさら に快適にできるようになります。

この場を借りて、感謝申し上げます。 ありがとうございました。



個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアを つなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できる のかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことがで きそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101 メール: v-soudan@otagaisama.or.ip

市民活動·NPO相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、 グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。 相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専 門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

●問合せ/最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。 電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験が あり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業につい ていけない」などの相談を受け、小学生~高校生の個別の学習支援に取り組むボランティア を探して紹介しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊 重していきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101 メール: v-soudan@otagaisama.or.ip

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



ボランティアについて▶【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】

災害ボランティアについて▶【せたがや災害ボランティアセンター】

リハビリについて▶【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】

訪問介護について▶【ケアステーション連】

介護プランについて▶【ケア相談センター結】

障害について ▶【ぽーとせたがや、スペース ココカラ。】









Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。